

「そらひびきの栽培状況」

新潟かがやき農業協同組合
米穀部 米穀販売課 涌井 和孝

JA 新潟かがやきの概要

設立

令和4年4月1日

JA北蒲みなみ、JAささかみ、JA新潟みらい、
JA新津さつき、JA越後中央の5JAが合併し誕生

エリア

新潟県 新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町、燕市、弥彦村

組合員数※令和6年3月末時点

58,125人（正組合員：27,882人、准組合員：30,243人）
うち、大豆生産組合員：307人

大豆作付面積・数量

1,331ha 2,357トン（新潟県産大豆の約3割）

主な大豆作付品種

里のほほえみ、エンレイ、タチナガハ



R6年産そらひびきの栽培概要

	生産者A		生産者B	
	そらひびき	エンレイ	そらひびき	エンレイ
作付面積	71a	1,958a	87a	1,491a
播種日	6月8日	5月28日～ 6月8日	6月7日	5月24日～ 5月28日
栽培形態	慣行		慣行	
播種量	4.6kg/10a	4kg/10a	5kg/10a	4kg/10a
土づくり	苦土炭カル 発酵けいふん		発酵けいふん 尿素グラニューラー	発酵けいふん
施肥	播種同時 エコマル488	播種同時 エコマル488	—	

R6年産そらひびきの栽培概要

	生産者A		生産者B	
	そらひびき	エンレイ	そらひびき	エンレイ
中耕・培土	6月26日 7月20日	6月17日 6月27日	6月25日 7月10日	6月15日 7月3日
除草剤	4月27日 7月2日 8月1日	6月18日 7月4日 7月12日	雑草の除去作業 7月22日 8月21日	雑草の除去作業 7月22日 8月21日
防除	8月6日：トレボンエアー 8月6日：トライフロアブル 8月22日：アディオン乳剤 8月22日：プランダム乳剤 25	8月5日：トレボンエアー 8月5日：トライフロアブル 8月21日：アディオン乳剤 8月21日：プランダム乳剤 25	9月2日：トライトレボン 粉剤	9月2日：トライトレボン 粉剤
灌水	—		—	
開花日	7月23日	7月16日	7月21日	7月15日

R6年産そらひびきの現地写真

【生産者A】
令和6年7月4日
生育期



【生産者B】
令和6年7月4日
生育期



R6年産そらひびきの現地写真

【生産者A】
令和6年9月30日
黄葉期



【生産者B】
令和6年10月7日
黄葉期



R6年産そらひびきの現地写真



【生産者A】
令和6年10月17日
収穫期



R6年産そらひびきの栽培概要

	生産者A		生産者B	
	そらひびき	エンレイ	そらひびき	エンレイ
収穫日	10月26日	10月15日～ 10月26日	10月27日	10月21日～ 10月26日
収量 (kg/10a) (粗原の場合その旨記載)	356	263	189	190
農産物検査結果	特定加工 100%	特定加工 100%	特定加工 100%	特定加工 100%

そらひびきを栽培してみても

○生産者 A

- ・ 当地は粘土質な水田のため、狭畦栽培が出来ないが、通常の播種に比べ厚播きとしたところ、草丈が高く、着莢位置も高くなったことから、刈り取りロスはほとんど発生しなかった。
- ・ エンレイと比べ難裂莢のため、多少収穫が遅れても問題ない。

○生産者 B

- ・ 播種時期と降雨が重なってしまい、苗立ち期に湿害が発生した。
- ・ 圃場内の排水がうまくいかず、雨水の滞留が続いた。

そらひびきの選別について

○生産者 A

- ・ 傾斜は最大限とし、流量はエンレイ、里ほほ同等で実施した。
- ・ 選別下に良品が多いことから、再選別を実施した。
- ・ 選別を考えると、従来品種（エンレイ、里ほほ）のほうが作業しやすい。

○生産者 B

- ・ 形状が従来品種と比べ扁平のため、選別機の角度を調整して実施した。

⇒ 2 法人とも、選別スピードの低下や再選別などで作業時間が増加し、調製にかかる作業時間が通常大豆の 1.3 ~ 1.5 倍となった。

そらひびきの選別について



そらひびきの今後の展望

- 7年産は、引き続き当地での栽培適性を確認するため、管内の生産者に試験的な作付を依頼する。
- 好成績となった生産者Aの栽培履歴等を参考にした栽培暦を、他生産者へ共有する。
- 7年産も単収350kg/10a以上の単収を目指し、生産者への情報共有や指導を実施する。
- 国産大豆の安定供給により、実需者の輸入大豆からの切り替えが進むよう、産地一体となって取組みを進めたい。

ご清聴いただきありがとうございました

